

福井県と（公社）福井県観光連盟は、6月5日にホテル阪神（大阪市福島区）において、観光商談会を開催した。

まず、県の担当者から7月20日の舞鶴若狭自動車道全線開通を記念して開催する「海湖（うみ）と歴史の若狭路キャンペーン（7月1日～11月30日）」をはじめ、7月18日の若狭歴史博物館のリニューアルオープン、7月19日の野外恐竜博物館のオープン、地元食材を利用した「若狭路ご膳」、「若狭の秘伝」の特別公開とガイド付きバスツアーや旧北陸本線隧道などを巡るバスツアーなどの紹介を行った。

その後の商談会では、舞鶴若狭自動車道の全線開通や北陸新幹線金沢開業を誘客拡大につなげようと、県内から、ホテルや旅館をはじめとした観光施設、市町観光担当者など、40団体57名（去年は35団体44名）が参加し、関西地区の旅行会社等23社43名（去年は19社37名）に対し、予定の3時間を目いっぱい使い、それぞれの施設の魅力、県内の食・自然・文化・歴史などの積極的な売り込みを行った。

今後、9月に名古屋、11月に東京において商談会を開催するなど、福井に向けた新たな旅行商品の造成を働きかけていく。

<参考>

○参加者の声

（1）県内関係者の声

- ・ 多くの旅行会社が参加しているので、一生懸命アピールした。結構よい感触を得られた。
- ・ 恐竜博物館や天空の大野城などメディアによく取り上げられているものがあり、関心を持って聞いてもらえた。
- ・ 他県では、SNSを使った個人レベルの情報発信を大きな力にしているところもあるので、そういう取り組みをしてはという助言をいただいた。

（2）旅行会社等の声

- ・ 県内の事業者から熱心に具体的話が聞けたので、大いに参考になった。
- ・ せっかくのよい素材が点のままで終わってしまわないよう、これらをつなぐことを考える必要がある。

会場の様子

